

いつ起きてもおかしくない《巨大地震》

DPASSで地震対策!!



南海トラフ地震

過去大きな被害をもたらした、次の南海トラフ地震は、いつ起きてもおかしくないといわれています。



今後30年以内※に
震度6弱以上の揺れに
見舞われる確率

※基準日：2010年1月1日

出典：国立研究開発法人防災科学技術研究所に加筆

《高度利用》緊急地震速報が、地震からあなたの身を守る!

DPASSは気象庁から発報される《高度利用》緊急地震速報を受信し揺れが到着するまでの予測震度・猶予時間をお知らせします。



670-90

高度利用者向け緊急地震速報専用受信機

DPASS SH500-J
Disaster ProActive Support System

面倒な操作不要の
音声特化モデル



《緊急地震速報》

携帯電話とDPASSの“違い”

緊急地震速報には《一般利用》と《高度利用》の2種類があり、携帯電話などで発報される緊急地震速報は《一般利用》型。DPASSで使われる緊急地震速報は《高度利用》型です。《一般利用》と《高度利用》では、発報速度が違い、《高度利用》の方が平均して7秒早く発報することができます。

携帯電話等の《一般利用 緊急地震速報》

複数の地震計で通知 → 最大震度5弱以上と推定された場合 → あいまいな表現で発報

大きな揺れがすぐにきます

発報速度	遅い
予測猶予時間	あいまい

地震計2カ所以上で感知後、広範囲での予測をあいまいな表現で発報されます。場合によっては地震到達後に発報されることもあります。

DPASSの《高度利用 緊急地震速報》

地震計1カ所から通知 → 観測地で震度3以上と測定された場合 → 震度5強 7秒前!

ピンポイントで猶予秒数をカウント

発報速度	早い
予測猶予時間	正確

地震計1カ所から感知後、瞬時に各地域の予測震度・到達までの猶予秒数を計算しピンポイントでカウントを始めます。

地震が来る前の“わずか数秒”の行動が一命を守ります。

DPASSの配信履歴例			こんな対策ができます!		
災害名	設置場所	到達猶予時間	災害名	設置場所	到達猶予時間
東日本大震災 2011年3月11日 14:46 最大震度 7	宮城県仙台市青葉区	15秒	大阪府北部地震 2018年6月18日 7:58 最大震度 6	大阪市福島区	2秒
	福島県いわき市小浜浜	20秒		大阪府堺市堺区	4秒
	東京都新宿区西新宿	50秒		兵庫県神戸市中央区	6秒
北海道胆振地方中東部地震 2018年9月7日 3:07 最大震度 7	北海道札幌市中央区	4秒	山形県庄内地方地震 2019年6月18日 22:22 最大震度 6強	山形県東村山郡	7秒
	北海道帯広市西24条	2秒		秋田県秋田市山王	26秒
	北海道釧路市春湖台	26秒		宮城県仙台市青葉区	22秒

揺れが来るまでの行動例	
揺れまでの猶予	対応可能な内容
~10秒前	2秒前なら手で頭を覆う。5秒前なら倒れそうな棚や窓ガラスから離れる。10秒前なら机の下に避難することが可能。
~20秒前	危険な場所がないか確認し、危険な場所から離れる。周りに声かけ・揺れが収まった後のいち早い避難誘導準備が可能。
~30秒前	避難経路の確認ができ、所定の避難場所まで移動できる距離ならば、指示者の誘導のもと避難が可能。

※震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

会社や学校、各施設で地震対策が簡単に導入できます！

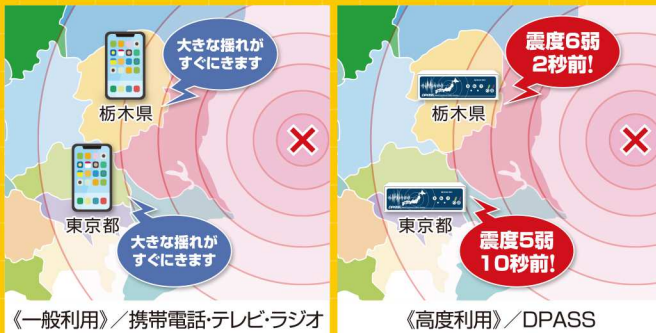


DPASSは、外部放送機器と接続し発報することができるので、多くの人が集まる施設で非常に有効です。官公庁をはじめ、多くの教育機関、各企業様にも導入をいただいております。

DPASSの導入メリット

素早い地震速報

携帯電話・テレビ・ラジオなどの《一般利用》緊急地震速報と違い、DPASSの《高度利用》緊急地震速報では、地震計感知後、瞬時に各地域の予測震度・到達までの猶予秒数をピンポイントでカウント。場合によっては地震後に発報されることもある《一般利用》よりも、《高度利用》では、平均して7秒早く発報され、いち早く緊急地震速報を発報できます。



内外の人命安全確保

DPASSを設置した建物内で働く従業員やお客様などに対して、確度の高い安全対策が行えます。

2次被害の防止

素早い緊急地震速報なので、火災などの2次被害の対策をしたうえで、避難などを行うことができます。

防災意識の向上

DPASS設置により、内外への地震対策の啓発となり、日頃の防災意識を向上させることができます。

端末を使った訓練

地震の発報だけでなく、端末を使った音声訓練も可能なので、BCP対策や防災マニュアル作成に大きく役立ちます。

DPASS(SH500-J)の特徴

津波対策にも対応

緊急地震速報だけでなく、津波情報(大津波警報・津波警報・津波注意報)を追加しました。

豊富な音声パターン

NHKチャイム音にも対応した、豊富な報知音や「避難誘導音声」をご用意。カウントダウンでは、「詳細表現」と「曖昧表現」の選択も可能です。

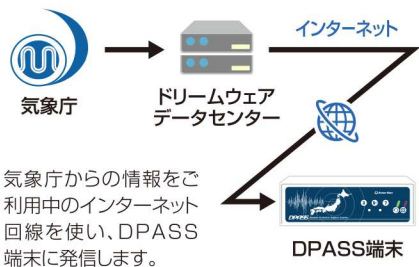
外部接続機能の充実

外部接続端子を標準装備。複数の外部音声での放送設備や回転灯を利用した放送が可能です。

国内での開発・生産

安心できる品質を追求するため、ソフトウェアからハードウェアまで一貫して国内での自社開発・生産を行っています。

DPASSの仕組み



放送機器連動例



DPASS使用例



SH500-J 製品仕様		
DPASS緊急地震速報受信端末 本体(親機)《SH500-J》		
名称	DPASS 緊急地震速報受信端末	
品番	SH500-J	
本体外形寸法	幅220mm×高さ69.2mm×奥行220mm(突起部除く)	
重量	1.9kg	
電源電圧	DC12V/ACアダプタ使用(出力: DC12V/800mA)	
消費電力	待受1.0W 最大1.2W	
温湿度条件	操作時0~40℃/非動作時-10~60℃/湿度10~80%RH(結露なきこと)	
電文受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式 無電圧ループ接続出力(A接続B接続可能)	
出力	外部制御出力 (DO 1/2/3/4)	定格電圧: 38V/最大ピーク電圧: 60V 定格電流: 1000mA/最大ピーク電流: 1000mA
	内蔵音声出力 (SPEAKER)	2W
	外部音声出力 (LINE OUT)	RCA-MONO.出力電圧(最大): 2.5Vp-p(+4.2dBs).出力インピーダンス: 10KΩ 不平衡
入力	信号出力 (DEBUG)	TTLレベル
	電源 (POWER)	A酸AC100V (50/60Hz)/DC12V-800mA
	外部音声入力 (LINE IN)	RCA-MONO.出力電圧(最大): 2.5Vp-p(+4dBs).出力インピーダンス: 10KΩ 不平衡
	ネットワーク	10/100Base-T 配信サーバーとの通信ポート: 9001
外部接続入力	(DI 1/2/3)	電圧ループ接続出力に対応。出力電圧: 5V.出力電流: 5mA

機能	発報震度レベル設定	気象庁震度階級 1~7の間で設定 ※接続出力(DO)に限りキャンセル報での動作選択も可能
	発報表現設定	詳細/曖昧1(カウントダウン有)/曖昧2(カウントダウン無)
	端末動作確認テスト	震度レベル3段階(3/5強/7/猶予時間20秒固定) ループ
	告知アナウンス設定機能	地震発報後、避難誘導音声の設定可能
	津波注意報・警報受信機能	津波注意報・警報受信可否設定が可能
	LINE OUTディレイ機能	無し/1秒~10秒 選択
外部出力(接続出力)設定機能	接続出力のディレイ/出力時間/出力方式設定が可能	ディレイ: 無し/100ms~900ms/1秒~10秒 出力時間: 無し/100ms~900ms/1秒~60秒 120秒/180秒/240秒/300秒/連続/AF連動
	出力方式: 発報時出力/発報後出力	LINE IN音声そのままLINE OUTへスルーする機能 緊急地震速報が発生した場合、LINE IN音声を遮断しLINE OUTから発報動作を行い、発報が終了するとLINE IN音声の出力を再開する機能
表示/操作音	赤LED (POWER)	電源供給状態およびハードウェア接続状態の確認
	緑LED (STATUS)	ネットワーク接続状態および電文受信の確認
	ブザー	機器稼働確認音
接続コネクタ	電源	外径: 6mm/内径: 2mm
	LINE OUT	RCA ピンジャック
	LINE IN	RCA ピンジャック
	DG-SERIAL	φ3.5 4極ジャック
	RS-232C	D-SUB 9PIN
	DO	スクルーレス 3.5mmピッチ
DI	スクルーレス 3.5mmピッチ	



製造元/配信事業者
株式会社 ドリームウェア
http://www.dreamware.jp/
E-mail: 1nf0@dpass.jp
(イチエヌエフゼロ@dpass.jp)



販売元/設置事業者
テレネット株式会社
http://www.telenet.jp/
E-mail: info-dpass@telenet.jp

お問い合わせ



株式会社 シー・エー・エヌシステム
(東京事務所)
〒111-0052 東京都台東区柳橋2-10-2
TEL: 03-5809-3392



DPASS 紹介動画
詳しくはQRコードで!

